

委員会 議事要旨

「第2回」環境にやさしいごみ処理施設を考える委員会 議事要旨

- ・ 日 時：平成30年10月25日（木） 9:30～11:50
- ・ 場 所：東大阪都市清掃施設組合 第五工場 3階研修室
- ・ 出席者：環境にやさしいごみ処理施設を考える委員会：15名
：事務局：東大阪都市清掃施設組合：7名
- ・ 議題
 - (1) 議事要旨の確認について
 - (2) 事業方式検討委員会の報告について
 - (3) 処理方式検討委員会の報告について
 - (4) 今後のスケジュールについて
- ・ 議事要旨
 - (1) 議事要旨の確認について
第1回環境にやさしいごみ処理施設を考える委員会の議事要旨について、内容確認を行った。
 - (2) 事業方式検討委員会の報告について
第1回事業方式検討委員会で議論した事業期間と検討対象とする事業方式についての報告があった。
意見内容及び質疑により決定した内容は以下のとおりである。
 - ・ P F I 等手法を導入する場合における事業期間については、様々なリスクの要因と施設の目標稼働期間、大規模改修計画、他都市の先行事例などを考慮して、20年間程度とする。
 - ・ 検討対象とする事業方式については、従来方式である公設公営のDB方式、財政負担が軽減するメリットを考慮して、公設民営であるDBO方式と民設民営であるBTO方式とする。
 - ・ 公設公営方式とPFI等手法の導入検討については、同列に並べて議論し、その結果を管理者、組合議会に説明していくこととする。
 - ・ コスト比較については、想定する事業期間の20年間程度で比較を行う。
 - (3) 処理方式検討委員会の報告について
第1回処理方式検討委員会で議論した選定対象の処理方式、処理方式の検討項目、処理方式の選定手法等の項目について報告があった。
意見内容及び質疑により決定した内容は以下のとおりである。
 - ・ 選定対象の処理方式については、建設予定地における配置可能性検討調査の結果から、ストーカー式と流動床式の2方式とする。
 - ・ 処理方式の検討項目は、5つの整備方針（「環境負荷を低減する」、「エネルギーを有効活用する」、「経営の効率化を図る」、「安全で安定した長寿命化施設を整備する」、「地域への貢献」）から設定したものとする。

- ・処理方式の選定手法については、委員会全体で採点する手法を用いることとし、各委員の採点に相違のある場合は合議的に採点を行う。評価方法は、「特に優れている」、「優れている」、「標準的である」、「標準より劣っている」、「評価できない」の「5段階評価」とする。
- ・アンケート調査先について
第六工場配置検討の際に実施したアンケート調査先と同じメーカーとする。

(4) 今後のスケジュールについて

今後のスケジュール（案）について説明し、意見の徴収と質疑応答を行った。

- ・アンケート調査は、事業方式検討委員会と処理方式検討委員会で、概略見積・意向調査仕様書の内容を一つにまとめて、一本で実施する。
- ・まとめた概略見積・意向調査仕様書、アンケート調査票については、技術専門委員会ごとに各委員が確認し、修正点を反映した形でそれぞれの第2回委員会にて再度確認する。
- ・技術専門委員会で決定した概略見積・意向調査仕様書、アンケート調査票は、事業者へ調査依頼を行う前に環境にやさしいごみ処理施設を考える委員会の委員長、副委員長が確認する。